

アライグマ専用捕獲器「ラクーンキューブ」の改良について

1 はじめに

特定外来生物に指定されたアライグマは全国的に増加傾向で、農作物にも被害を与えています。従来の捕獲器はネコやタヌキなどが誤って捕獲されてしまう「錯誤捕獲」が発生し、アライグマの捕獲の効率が低下する事例が多く見られていました。

そこで、アライグマと、錯誤捕獲される動物との行動特性の違いを明らかにし、アライグマだけが作動することができる「筒式トリガー」を開発しました。また、このトリガーを使用し、(有)栄工業と共同で錯誤捕獲の解消とコンパクト化を実現した捕獲器「ラクーンキューブ」を開発し、2018年2月に製品化しました。

今回、製品化後に発生した課題を解決するための新規改良を行った結果を紹介します。

2 研究内容

旧型ではエサ収納部に設けたエサ交換用の蓋が捕獲器の内側にあり、その蓋を捕獲されたアライグマが開け、破壊する事例が発生しました(図1)。新型では捕獲器の外側からエサの交換が行えるよう改良を行いました(図2、図3)。改良型を用いて現地実証を行い57頭捕獲した結果、エサ収納部が破損する事例は解消され、衛生的かつ安全に取り扱うことが可能になりました。



図1 破損したエサ収納部

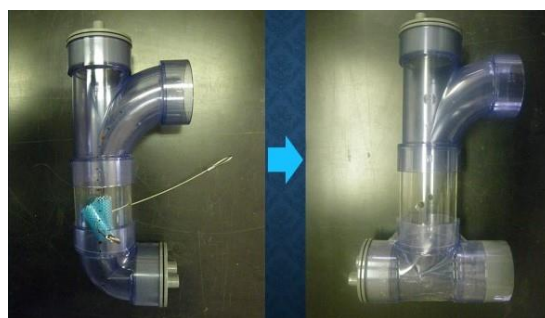


図2 専用トリガー旧型(左) 新型(右)



図3 改良前後の誘引エサ管理作業の様子

3 今後に向けて

改良した専用捕獲器は、2019年2月より販売を開始しています。市町村では捕獲器の導入を進め、農作物や生活環境被害と生息域の拡大防止に役立てていただきたいと考えています。このため、アライグマを更に効率的かつ効果的に捕獲できる場所や捕獲時期について研究を進めています。

4 アライグマ専用捕獲器ラクーンキューブ設置マニュアル

開発した技術を効果的に活用していただくため、「ラクーンキューブ設置マニュアル」を作成し、埼玉県農業技術研究センターホームページで公開しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/104427/rchp20210405.pdf>

※本研究は、委託プロジェクト研究「農林水産分野における気候変動対応のための研究開発」により実施されました。

【問い合わせ先】

埼玉県農業技術研究センター鳥獣害防除担当

電話：048-536-0311（代表） FAX：048-536-0315（代表）